

会報 No.310



キャリア・コンサルタント

2020年（令和2年）11月10日

[発行] キャリア・コンサルタント協同組合

発行責任者：渡邊 健三

〒102-0052 東京都千代田区神田小川町 1-8-3
小川町北ビル 8F

Tel: 03-3256-4167 (代表)

直通電話：営業本部 03-6821-7544

：外国人材受入事業部

03-6826-7789

Fax: 03-3256-4168

E-mail：[会報編集部] henshu@ccco.jp

[事務局] jimukyoku@ccco.jp

[営業本部] eigyo@ccco.jp

URL： <http://www.occ.or.jp>

<http://www.ccco.jp>

編集長：田中 努

編集者：平松靖弘 影山和子 大野長壽

中野 忠 福田秀樹

1. 次世代通信5Gをもっと知りたい(1)

「ことばワークス」代表 賛助会員 金子 元一

2. 健康管理その1「メタボの予防について」

理 事 宮坂 武彦

3. CCKがたどった道(CCKの歴史)(第3回)

顧 問 榎木 義彦

4. 連載 田園中児の「伊呂波歌留多」 第四回

田園 中児

5. 事務局だより

事務局長代行 田中 努

一粒万倍

1. 次世代通信5Gをもっと知りたい（1）

「ことばワークス」代表

賛助会員 金子 元一

初めて投稿させていただきます。私は、テクニカルライター、兼ロゴデザイナーとして現在東京のはずれで細々と暮らしております。早いもので個人事業主「ことばワークス」として独立後、2020年の11月で創業7年を迎えました。CCKとの接点は、2年ほど前に岡崎様の紹介で、栩木様から東京都中小企業振興公社の取材の仕事を請け負ったのがきっかけでした。現在は東京産食材ブランディングの仕事を継続中です。

ところで、CCKのHPを拝見すると、「すぐそこにある未来へ」というキャッチコピーに続き、「すぐそこにある未来の経営課題に向け、私達CCKの経験豊富なスタッフが、すぐに役立つ現実的なソリューションをご提供します。」というボディコピーで完結しています。これらのコピーを受け、多くの経営者の共通課題となるであろう話題の5Gこそが、正に「すぐそこにある未来」だと考え、テクニカルライターとして、このテーマについて私の拙い知識から諸先輩方に可能な限り分かり易く情報共有させていただけたらと思い、今回のテーマを選びました。

5Gで変革する未来を先取り

実は5G（5Generation＝第5世代通信技術）は、以下の様な世代を辿り現在に至る通信網高度化の歴史です。実際の年代を追って思い起こしていただくとイメージできると思いますが、1Gから4G迄の世代では、通信キャリアはその技術革新を、昨今の5Gの様に大きくアピールしていなかったと思います。それではなぜ、5Gへのステップアップだけが世界中で大げさに騒がれているのでしょうか？

実はこれには明確な理由があります。それは以下の年表の様に1Gから4G迄の世代は、言わば通信技術の進化の過渡期であり、それぞれのGeneration毎に、電波の遅延、容量不足、低い信頼性、不十分な通信速度、等など、具体的に解決すべき明確な課題がありました。課題が明確なら、世界中の技術は同じ方向に向かい、当然ながら解決の糸口も見つけやすくなります。こうして世界中のエンジニアの努力の結果、4G迄は順調に漕ぎつけることができました。しかしながら、5Gへの移行には、乗り越えるべき大きな課題があったのです。

1980年	1 G	初期の携帯電話
1990年	2 G	携帯電話でメールが可能になる
2001年	3 G	DOCOMO の i-Mode や ez-web 等の高速化
2012年	4 G	日本のソフトバンクから iPhone (3 G) 発売！ 動画やスマホゲームが実用化
2020年	5 G	高速大容量通信 超信頼度 低遅延 自動運転技術 多数同時接続 (Iot の普及が加速)

★この年表を見ると、10年おきの技術革新が実現していることがわかります。10年ひと昔とはよく言ったものですね。

5G は、この先10年を見据えた、通信網高度化の特別な到達点！

新たな5Gは、今後の自動運転技術を見据えた、高速大容量通信 超信頼度 低遅延等など、従来より遥かにハードルの高い技術革新でした。当然ながらレベル4 & 5の自動運転は、僅かな通信遅延でも人命にかかわります。ゲームの世界と異なり、高い信頼性が求められます。実は、これらをクリアするのが至難の業だった様です。

その意味で5Gは、この先5年から15年を見据えた、一つの到達点と言えるのかもしれませんが。世界中の通信キャリアが大騒ぎするのも無理もない話でしょう。繰り返しになりますが、前述の4G迄は、解決すべき課題が常に明確であり、それぞれの Generation 毎に何が実現したいのかを容易に想像できるフェーズでした。言わば、解決する壁が事前に見えている、問題解決型の技術革新だったのです。

しかし、現実には5Gが世界中に普及し、高速大容量通信 超信頼度 低遅延が実現してしまうと、次に生まれる新たな技術の可能性を想像しながら、世界中の企業は熾烈な技術革新競争を始めることになってしまいました。つまりこれからは、5Gで何が実現できるのかをイメージできる企業やエンジニアだけが、前述の「すぐそこにある未来」をその手で掴むことができる。と言うことです。

想像力と、次の未来を予測するマインドを持っている企業だけが、今後の未来を見通すことができ、競争に勝てるという正に驚きのフェーズに移行するという話です。

5G で世界は変わる。

1. インターネットの普及以上の大革命！

現実には2019年に、アメリカと韓国で5Gは既に実用化されています。これは両国で世界初を競ったバトルが繰り広げられていた事に起因します。しかし実際には国内全てにインフラを拡大するにはまだ時間がかかりますから、日本も焦る必要はありませんし、追いつける可能性は充分にあります。とは言え、アメリカや中国では既に5Gを有効利用した、以下の様な驚くばかりのビジネスモデルが実用化されつつあります。

●自動運転の先を行く MaaS(Mobility as a Service)

これは、バスや電車、タクシー、飛行機など、すべての交通手段による移動を、一つのサービスに統合し、ルート検索から支払いまでをシームレスにつなぐ概念で、フィンランドではすでに実用化されていると言うから驚きます。実は、自動車メーカーのトヨタも今年、5G環境を前提とした「ウーブンシティ構想」を発表しています。プロジェクトの目的は、ロボット・AI・自動運転・MaaS・パーソナルモビリティ・スマートホームといった先端技術を人々のリアルな生活環境の中に導入・検証出来る実験都市を作ることだと言われています。

●VR/AR (注) を、遅延の無い5Gで運用。

仮想現実や拡張現実と呼ばれる技術は従来から存在しますが、遅延の無い5Gで運用すれば、リアルタイムのスポーツやコンサート中継が実現します。更に会場の周囲にマルチカメラを設置すれば、視聴者が望む自由なアングルを生中継可能です。あらゆるエンターテイメントに活用でき、しかもその場に居る以上の臨場感が体験できます。

(注) VR (Virtual Reality: 仮想現実) は、ゴーグルを使い、現実世界と切り離された仮想世界に没入する技術。3D CGで作られたゲームの世界に没入したり、全天球カメラ(360°カメラ)で撮影された観光地の景色の中に没入したりできる。

(注) AR (Augmented Reality: 拡張現実) は、現実世界にデジタル技術で情報を重ねる技術。メガネ型デバイスで、人間の目が捉えた映像とレンズに投射した映像を重ね合わせるのが一般的だが、必ずしもウェアラブル・デバイスが必要なわけではない。

●2019年、Googleがクラウドゲーム「STADIA」を発売！

PCゲームは、処理速度の速い高度なゲーミングPCを必要としたため、いつの時代においてもお金のかかる趣味でした。そんな中、Googleは昨年5G環境を前提に、クラウド上の定額ゲームサービス「STADIA」を発売しました。全ての膨大なゲームはクラウド上にあり、Googleはコントローラーだけ売る。ユーザーは定額で憧れのゲームを好きなだけ楽しめます。

●ロボット等による遠隔医療サービスの実現。

既に何年も前から、人間の手振れを自動補正する療用ロボット、ダーウィンは実用化されていましたが、通信環境が追いつかず、遠隔からのリモート医療の実用化は遅れていました。制御の遅延は、自動運転同様に致命的なミスに繋がり、大きな障害になっていましたが、5G環境によって、ほぼ解決の目途はついたと言われます。今後はミスが許されない医療分野へも浸透していくでしょう。

2. 全てが Iot 化する世界は、次世代の 6G を標榜する。

これらの革新技術は別として、既に日本でも、ネットに繋がった (IoT:Internet of Things=モノのインターネット) は、冷蔵庫、照明、エアコン、玄関ドアなどに利用されています。しかし今後の様々な革新技術の発展に伴い、Iot が加速度的に過密化してしまうと、現状の 5G では対応できない世界が来ると予測されています。

既にアメリカでは、あの負けず嫌いのトランプが、「偉大なアメリカは今後 6G を目指す」と公言しているそうですから、この分野の技術革新は、今後も世界中で大きく発展を続けて行くのでしょうか。

さあ、私たち日本人は世界に追いつき、追い越せるのか？ (つづく)

2. 健康管理その1 「メタボの予防について」

理事 宮坂 武彦

1. はじめに

現代社会においては、公共交通機関の整備、自動車の保有量の上昇、肉体労働の減少等により運動量が減少しているものの、その割に食事は減少しておらず、かつ、豊富な食材に囲まれ良質(?)な食事を摂取している。その結果、肥満傾向となり、メタボリックシンドロームのリスクが高くなっているように見受けられる。さらに、平均寿命の伸長と共に、がんや高血圧症、糖尿病、脂質異常症、認知症などの慢性疾患に悩まされている人々も増加し、医療や介護への支出が増大化しており、健康不安に脅かされている高齢者の増加とセイフティーネットである保険制度にも綻びが生じている。

これらの不安等に対処するために、生活習慣の改善、医療との係わり、地域社会や職業への取り組み方などを数回に分けて検討していきたい。第一回目として、メタボリックシンドロームへのリスク対策について以下に検討していきたい。

2. 人はなぜ肥るのか？

類人猿から人間（ホモサピエンス）への進化の過程において、遺伝的形質として糖質を豊富に含まれている食物を摂取して効率良く人間の生存に生かしていくシステムが欠如していると思われる。つまり、脳や赤血球などの器官へのブドウ糖を供給するために、血糖値を上げるためのホルモンが複数存在するのに対し、血糖値を下げるホルモンはインシュリンだけであり、糖質を多量に含まれている小麦やお米を摂取することを想定していないものと思われる。

肥満の最大の要因は、パン、ご飯、うどん・そばなどの麺類、甘味料を含む飲料など糖質を多量に含む食料を摂取することであり、そのメカニズムは下に示すとおりである。

糖質の摂取 ⇒ ブドウ糖として消化吸収 ⇒ 血糖値の上昇 ⇒ インシュリンの追加分泌 ⇒ 中性脂肪への変換 ⇒ 中性脂肪の蓄積 ⇒ 肥満

この他に考えられる肥満の要因は、次のものがある。

- ① 運動不足による消費エネルギーが減少すること
- ② 加齢に伴い基礎代謝量が年々減少するものの摂取エネルギーを減らせないこと
- ③ 筋肉や褐色脂肪細胞（*1）が減少し、体内にある脂肪の燃焼力が低下すること
- ④ 主に動物性脂脂肪を過剰に摂取すること

いずれにいたしましても、肥満がもたらすものは、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病へのリスクが高まり、健康不安を抱え込むこととなります。

3. 肥満を解消する方法

上記のことから、炭水化物（糖質＋植物繊維）のうち糖質の摂取量を減らすことにより、運動することなく効率よく体重を落とすことが可能となります。ただし、通院治療、服薬等を行っている方は、主治医に相談の上、食事療法の有効性に対するアドバイスを受けて実行する必要があります。体重を落とすことにより、高血圧、血糖値、脂質異常も正常値の範囲に戻ってきますので、以下のことを実行することにより肥満の解消できるものと考えます。

- ① ご飯、パン等の糖質の摂取量を減らす
朝食、昼食でのご飯・パン・麺類の摂取量は、今摂取している量の半分程度に減らす。できれば、夕食ではご飯類を食べない。
- ② スイーツ・菓子類は当分の間摂取しない
ケーキ、和菓子、スナック菓子、糖分を多く含む飲料は、厳禁とする。摂っても良いものは、くるみ、アーモンド、ピスタチオなどのナッツ類、カカオ70パーセント以上のチョコレート、みかん、リンゴ、ブドウ等の果物とする。なお、最近の果物は、品種改良で糖度が高いため、過剰摂取は避ける。
- ③ 同じ糖質を摂取するにしてもGI値(*2)の低い食物を選ぶ
精白された米又は小麦でできたご飯・パンはGI値が高く、食後血糖値を上昇させ、インシュリンの追加分泌を促し、中性脂肪として体内に蓄積させるので、GI値の低い食品を選ぶ。
- ④ お酒は選んで飲む
ビールと日本酒は、糖分を多く含むので摂取しない。ウイスキー、焼酎、赤ワイン、辛口の白ワインは、飲んでもよい。なお、防腐剤が添加されているものは避ける。
- ⑤ 野菜は多めに摂取する
一般に野菜類は、糖質の含有量が低く、食物繊維を多く含まれており、免疫機能を司る腸内を整える働きがあり多種類の野菜を多めに摂取する。なお、根菜類には、糖分を多く含むものがあるので、過剰摂取は控える。
(つづく)

*1.褐色脂肪細胞とは、ミトコンドリアを多く含む細胞で、動物や新生児が体内の脂肪を燃焼させることにやり体温を保つ働きがあるとされている。

*2.GI値(Glycemic Index グリセミック インデックス)とは、食品に含まれる糖質の吸収度合いを示し、摂取後2時間までの糖濃度を測ったものです。

高GI値の食品 ~ 白米、白パン、フライドポテト、マッシュポテトなど

低GI値の食品 ~ 大麦、大豆、ライ麦パンなど

3. CCKがたどった道（CCKの歴史）

顧問 榎木 義彦

第3回 新規事業開拓期（平成11～17年）

この時期は、「CCK（協同組合）として事業を進めよう」という機運が高まってきた時期で、その中で現在にも続く新規事業がいくつか生まれた時期である。その主な事業の辿った経緯等をご紹介します。

1. 外国人研修生受入事業

組合を設立して7～8年を経過すると、コンサルタントだけでなく、業態の違う組合員も加入されるようになってきた。そのひとりに愛知県の一宮市で人材派遣業を営む林隆春氏がいた。

同氏がCCKに加入する動機は、人材派遣に関連した仕事を東京でやりたいということと、外国人研修生(略称外研=現在は外国人技能実習生)受入事業をやりたいのでCCKに加入し組合事業として進めたい。」というものであった。

外国人研修生の受け入れに関しては、自社の名義で受け入れられる大企業以外の企業が受け入れるためには、事業協同組合等の管理（現在は監理）団体の資格を持つ中小企業団体が受け入れ企業に代わって入出国及び在日中の管理を行うことになっていた(現在は前述のとおり監理となっている)ので、「この事業をCCKとして一緒にやらないか」というものである。

平成15年になり林氏の提案にもとづき管理団体の申請を行うことになったが、そのためには組合員の過半数の賛同を得て定款変更を行う必要があったため、この動きに当時事務局長代行（実質は事務局長だがその地位にはつかなかった）河井寛治氏が大反発し、組合員の中で外研事業に異議を唱える組合員はもちろん、賛否どちらとも言えない組合員も巻き込んで反対運動を展開した。その理由は、“コンサルタントの団体に、こうした事業を持ち込むことは組合の目的に反する”というものであった。

この事業を「やるべきか」「やらざるべきか」は、CCKを二分する大論争になり約半年間続いた。「やらざるべき」は河井氏の意見に賛同するコンサルタント事業純血派、「やるべき」は私の「将来を見据えたとき、別な分野の仕事を併せて経営することがリスク回避になることと、（言い方は悪いが）日銭が稼げる仕事がほしい」という考え方に賛同する人たちである。議論を尽くしても結論が出そうもなかったため、理事会にかけて理事の多数決で決定することとし、当事者理事（林氏、篠田正義氏）を含む僅差で私の意見通り進めることになった。

ところでここでまた問題が生ずることになる。管理団体の申請を行うには前述のとおり定款変更を行う必要があったが、本来その事務を担当すべき河井氏が「CCK の機関決定はあっても私の信念は変わらない。従って手続きが必要なら必要と思う人がやってくれ」と一切取り合わなかったため、やむなくこの事業に参加予定であった渡邊健三氏（現理事長）が原案作成を行い、中央会や所轄官庁である通産省との交渉サポートは私が担当し、約半年間をかけて平成 16 年 2 月認可にこぎつけた。

一方この外研事業の顧客開拓が課題となる中で、事業スタートの翌年に栃木県の E 社から「そちらの組合と一緒に事業を進められないか」との話があり、この話を進めることにより事業化が一気に加速した。

E 社が CCK の組合員になり篠田氏がこれを支援する形で、主として栃木県の企業の研修生受入を開始したが、CCK としても渡邊氏が中心になり独自の受入企業の開拓を進めることになる。その後の外実事業はいくつかの転換期を迎えることになるが、そのことについては次回に触れたい。

2. マイデスク事業

マイデスク事業を始めたキッカケはいくつかあるが、一番のキッカケは現在も P マークの客先である㈱サンゲインズの前社長白石進氏とのご縁である。白石氏と私は友人の川島氏（PCA の社長でもあった）が副社長をしていたソフト開発会社のシステムズデザイン㈱で、私が社員教育を引き受けたときからのご縁で、その後白石氏がデータ入力の専門会社（本社埼玉県朝霞市）として独立する際の様々な事務手続きを支援した。

その白石氏から独立して間もなく、「データ入力以外の事業にも進出したいので一緒に考えてくれないか」という依頼があり、その検討の条件の中に「東京進出の足掛かりになる場所が欲しいのと、そこで展開する事業を検討したい」というものであった。

一方 CCK の方では、「小川町北ビルの 4 階（現在の CCK の事務所の北側に当たる 402 号室）のみでは狭い」という声が生じてきた。外研事業の展開と組合員の中に「CCK 事務所の中に自分のスペースがほしい」という 2～3 人からの要望も出ていた。

丁度その頃は「不動産不況」で事務所の借り手が少なく、当組合が入居する小川町北ビルも 8 階の南北両側の 2 部屋をはじめとして 5 部屋が空室の状況で、「敷金・家賃とも交渉次第」という状況になっていた。

そこで私は、思い切って 1 フロアーをまるまる借りられる 8 階にそっくり CCK 事務所を移し、ここに組合員向けの貸机コーナーを 10 区画程度設けることを理事会に提案した。

毎月の家賃は貸机の利用料で賄えるとして、問題は 300 万円の敷金の調達であった。その当時は特に財務状況が悪い時期で金融機関からの借入が難しかったため、窮余の一策で「白石氏の㈱サンゲインズから CCK がこの資金を借り、それを私が個人保証する」という提案を白石氏に持ちかけたところ、意外にも 3 日後に「東京進出の足掛かりにする場所の確保ということから社内のコンセンサスが得られた」との回答があり、本計画は進みだすことになった。平成 16 年 6 月の実施にあたっては白石氏と私に、当時事務局長だった田中努氏が加わり、資金と自ら会社の利用計画は白石氏、8 階に部屋を借りる価格交渉は田中氏、部屋のレイアウトと利用者へのスペースの当てはめ利用料の設定等は私が担当して進めた。またその際に、単なる「貸机」スペースというのではなく「何か名前を付けた方が良さそう」ということになり、協議の結果「マイデスク」に落ち着き、現在に至っている。この事業は組合員向けの事業として始めたが、CCK が支援して開業した一部の企業の利用も認めている。

なお、㈱サンゲインズから借りた敷金の 300 万円は、「毎月 5 万円の元金に、残金に対する利息 5% を加算」という条件で、5 年後には完済した。

3. ISO 事業

平成 10 年ごろから、CCA（協会）の生産管理部会の一部メンバー（主に田口保、安部誠一、伊藤亮二、中村正二各氏）が事業としての ISO 事業を進めることになり、主として CCK の取引企業、CCK 組合員の出身・関連企業等を主体に営業活動を行い、その後約 15 年間 ISO 事業部として CCK の事業の中心にあった。

最も活動が活発であった平成 15 年ごろからは、事業業績が優良な中小企業に ISO 取得ブームが高まる中で、CCK も ISO9001（品質管理）は伊藤・安部・下田将文氏、ISO14001（環境）は中村氏が中心になり常時 10 社以上の固定客先を持ち、売上も年間で CCK 売上の約半数以上を上げていた。

この事業でもう一つ特徴的であったのは、秋葉原で長年計測器の販売・メンテナンスを行っている T 社とのご縁が出来、同社の専務 Y 氏が ISO9001 の審査員であったことから同社から紹介の顧客も約 10 年間に 10 社以上あった。

長年 CCK の中心にあった ISO 事業であるが、認証を受けようとする中小企業の大幅な減少に加え ISO 事業部メンバーの高齢化により近年急速に受注が減少し、伊藤氏も去り、更に一昨年からは ISO 事業部長を兼務していた竹内正順氏の急逝もあって、同時点をもって廃部となった。その後も継続してコンサルティングを行っていた 2 社についても昨年度一杯で打ち切りとなり、CCK の ISO 事業は終わりを告げた。

なお、ISO 事業部内で活動していた『P マーク取得支援』のコンサルティングは、主として杉本和彦氏が担当してきたが、この分については現在 2 社で継続している。また、昨年からは今年にかけて CCK（組合）自身が杉本氏の指導を受け P マーク取得したことは、皆さんご存知のとおりである。

4. 業務請負事業

CCK 内に組合事務所を置いていた協同組合ビルマンション保全センター及び水上飛行機開発事業協同組合の事務局業務を全て引き受けていた他、マイデスク事業の利用者や一部の外部依頼者を含めて常に 10 社ほどの顧客から、会計業務、金銭出納、営業代行、販売資料作成等の業務を請け負っていた。この事業は私がまとめ役になり、メンバーはこの事業専任の加藤幸作、春山弘一、土田信吾の各氏及び CCK 事務局との兼務で宮坂武彦氏、山脇繁雄氏、影山和子氏等全部で 10 名前後の仕事量になっていた。

この事業は事務局業務を全て引き受けていた 2 組合の解散や外部からの依頼の減少により、現在は東京都自転車商協同組合及びマイデスク事業の利用者の一部の依頼事項を細々で行うにとどまっている。（つづく）

4. 連載 田園中児の「伊呂波歌留多」 第四回

田園 中児

第四章 浅き夢みじ酔ひもせず の巻

「あ」の部 [羹（あつもの）に懲りて膾（なます）を吹く]

熱かった羹（肉や野菜を入れた熱い吸ひ物）の火傷によって、膾（生魚の肉を細くきって酢漬けたもの）のやうな冷たい食べ物まで吹いて冷やすことから、前の失敗に懲りて必要以上に用心深くなるという譬へ。そこまで慎重になる必要はないといふ、馬鹿にした笑ひが伺はれる。一度の失敗に懲りて臆病になり何にも手を出さない人がある。バブルの時の不動産や株式に懲りて安くなっても買はなければ損のしっぱなしである。思い込みの激しい人は他人の意見も聞かなくなってしまう。

「さ」の部 [去る者(=人) 日々に疎し]

親しい友人でも離れて顔を合はせないやうになると、次第に疎遠になって行く。死んだ人は年月の経過とともに忘れ去られるといふこと。「遠ざかるは縁の切れ目」といはれ、加齢とともに年賀状の数も減り、音信の途切れる時もある。仕事から遠ざかると中元や歳暮のたぐひも少なくなる。親類や家族の突然の死もあって、世の中は無常である。

「き」の部 [聞くは一時(=一旦)の恥、聞かぬは末代(=一生)の恥]

分からないことを人に聞くのは無知を晒して恥ずかしいが、聞かなければ生涯いや死んでからも恥ずかしい思ひをするといふこと。知ったかぶりをしないで質問しなさいといふ戒め。しかし、質問できるほど理解していないときもあり、後で調べれば分かると考へ、その俣にすることもある。子供から「なぜ、なぜ、なぜ」としつこく聞かれると答へに窮することもある。また、「聞かぬが花」ともいはれ実際に聞かないであれこれ想像することが楽しいこともある。

「ゆ」の部 [勇(=強)将の下(もと)に弱卒(=兵)なし]

上に立つ人が優れていれば、部下も必ず優れているといふこと。強い勇将の下ではその士気に感化され兵も強くなるので、弱い兵はいない。しかし、勇将について行けない兵もいるから、淘汰されて強い兵士だけが残るとも解釈出来る。現実には、仕事出来る良い部下がいると、上司の成績も良くなり出征するやうな、部下に頼る上司も多いのではないか？ 役所では定年を迎えると部下が出向先を探すと、聞ひたことがある。

「め」の部 [盲(めくら)千人、目明(めあき)千人]

この世の中には話の分からない人も多い(盲千人)が話の分かる人も多い(目明千人)といふことを分かりやすく表現したもの。日常生活や仕事上で誠実に努力すれば、高い評価を得ない場合でも、それを必ず理解してくれる人がいるものだ。ただ、思考回路の違いからいくら努力しても理解してもらへない事も多いのも事実である。「捨てる神あれば拾う神あり」といはれ、救いの手が差し伸べられるので、何も絶望することはない。物事をプラス思考で捉へることが大切であると言っているのではないか？

「み」の部 [三歳児(=つ子)の魂百まで]

江戸の「いろはかるた」にある馴染みの句で、幼い頃の性格や性向(魂)は一生変はらないといふこと。三つ子は三歳の意味で幼いことを指す。「三つ子の知恵百まで」ともいはれ、教育的にも人間は三歳位までに、一つの性格が形成されるといふ。「人は氏より育ち」であり人間の基礎は幼時に作られ、その時期の教育がその後の性格を左右する。幼時の家庭での教育や躾が疎かになると、悪い性格の持主となり、一生涯社会から嫌われてしまふ。

「し」の部 [白河(=川)夜船]

(イ) 熟睡して何も気がつかない様 (ロ) 知ったかぶりをすること。ぐっすり寝込んで何が起きたか気がつかないことの譬へ。白河は京都の地名であり白川とも書き、河川の名前ではない。京都見物をしたと嘘をついた人が、白河はどうだったかと聞かれ、夜船で通ったのでよく分からないと答へたといふ。この白河には「知らず」の意味を兼ねている。上方の発生であるが江戸に来てから「白河夜船で高軒」と受け取られた。一度嘘をつくとは辻褄が合はなくなり、嘘の上塗りを重ねるやうになる。自分自身でも何を言ひたいのか、言っているのか分からなくなる人が多い。うの部の「嘘つきは泥棒の始まり」と対比して欲しい。

「彙」の部 [絵(彙)に描ひた餅]

彙の字で始まる言葉を探すのに苦労して辿り着いたのがこの句である。(イ) 形があるだけで何にも役に立たないものの譬へ。(ロ) 計画は出来上がっているが実現しないこと。略して「画餅に帰す」と用ひる。本来は「画餅を喰ひたがる」の意味であって、現代では少しずれて無効とか役立たずの意味で使ふ。努力しても絵に描ひた餅に終はることは多い。計画は実行されて初めて価値があり、その為には綿密な調査と将来の見通しが立たないものは駄目である。類似したものに「机上の空論」といふ言葉があり、会議でも堂々巡りをしていることが良くある。

「ひ」の部 [人を見て法を説け]

人に説明したり、人を説得する場合は相手の知識や個性を考へて、それ相応の方法で物を言へといふ教へ。これは分かっているやうで難しく、私などは相手が何も知らないと決め付けて、自分の主張を押し付けくどくどと説明することが多い。もっとこの句をよく噛み締めなければならない。会議の時にも知識水準が一致しないと、誰を対象に話をして良いのか迷ふことがある。ただ高齢者には何度も同じことを繰り返す必要がある。

「も」の部 [門前の小僧習はぬ経を読む]

江戸系のかるたの定番で、日ごろ見聞きしていると習わないお経も覚えてしまふ。環境が人に強い影響を及ぼすことの譬へ。今日では短縮形で「門前の小僧」いふ。子供は日頃接しているものや身近にいる人から感化され、その影響は大きい。「習ふより慣れろ」といはれ、日本での八年間の英語教育がいつも批判されている。子供は四歳でも自分の国の言葉で話が出来る。大人の中で育った子供は、時々ハットするやうな大人の言葉を使ふ。また、親の日常行動をいつの間にか取得し、その行動を表現する。

「せ」の部 [船頭多くして船山へ上(＝登)る]

指揮をとる人が多いと事がうまく運ばないといふ譬へ。指揮官が多いと指示が徹底せず、オレがオレがと主張する事によって、目的を外れた方向に行ってしまう。「小田原評定の本一の初鯉」といはれ、あれこれ議論して実行に移らず、激論のうへ結局原案通りといふ事になってしまう。何人かで鍋料理を囲んでいる時、「鍋奉行」が居ないと、必ず何が先だ、何が煮へているなどと口論になる。日本の行政は「役人多くして事絶えず」で構造改革がなかなか進まない。指揮系統の整備も必要であるが、お互いに譲歩しあって事を進めるべきといふことである。一隻の船には腕のいい船頭一人で充分である。

「す」の部 [過ぎたるは(猶)及ばざるが如し]

物事の度合いが過ぎるのは足りないと同じであるといふこと。論語に出てくる孔子の言葉で、物事は中庸が最も良いといふことである。しかし、我が国では文語調になって今でも良く耳にする。程度を超えたものは足りないことと同じで、物事には程度といふものがあり、程よく対処するのが大切である。勉強もほどほどが良く、あまり叱りすぎても良くないし、相手に非がある時は追い詰めないことである。「薬も過ぎれば毒になる」し、れの部の「礼煩わしかれば則ち乱る」と同じである。

「京」の部 [京の着倒れ大阪の喰ひ倒れ]

いろは歌の最後に言い添える言葉として「ん」に代わって「京」がある。京都の人は着物道楽で身代を駄目にする傾向があり、大阪の人は食べ物に贅沢をして財産を無くしてしまう。服装に贅を尽くす雅と、飲食の実質を重んじる商人を対比したものである。そして「江戸の飲み倒れ」と言ひ宵越しの銭は持たないし、「堺の建て倒れ」「神戸の履き倒れ」とも言ふ。しかし「色倒れ」には地名がつかない。いずれにしても人間はどこかで金をつぎ込むものであり、好きなことをして、趣味・道楽で財産を傾けるのも、人生の一つの生き方なのか？

主な参考文献

- 「岩波 いろはカルタ」(時田昌瑞著) 岩波書店
- 「明鏡 ことわざ成句使い方辞典」(北原保雄編著) 大修館書店
- 「一寸の虫にも五分の神」(杉本つとむ著) 雄山閣
- 「故事 ことわざの辞典」(尚学図書編) 小学館
- 「成語林」(尾上兼英監修) 旺文社
- 「忘れていた日本の懐かし言葉」(三田英彬監修) サンガ
- 「声を出して唄おう日本の春歌」(西はるか著) 竹内書店新社

「広辞苑」第六版（新村出編）岩波書店
「精選版 日本国語大辞典」小学館
「用例でわかる 四字熟語辞典」（学研辞典編集部）学習研究社
「ことわざの知恵」（岩波書店辞書編集部）岩波新書
「大漢語林」（鎌田正、米山寅太郎著）大週修館書店

あとがき

この「伊呂波歌留多」を編集するのに何冊もの参考書をひっくり返してゐる。半分ほどまで来ると少し億劫になって来た。しかし、始めたからには最後まで行かないと何の意味もなくなってしまふと、思ひながら一日一句の予定も疎かになってしまった。

本をひっくり返していると戯れ歌、替へ歌、学生時代の春歌の記憶が甦り、古いものを引っ張り出して来た。其中で特に記憶に残っているもの、他の本から借用して自分の知識と繋げ合はせたものを「番外編」として掲載して最終回にしやうと考へていたが倫理に反するものが多く、割愛することにした。

5. 事務局だより

事務局長代行 田中 努

●11月7日は「立冬」で、いよいよ寒さの厳しさを迎えます。立冬から大雪までを「初冬」といい、北風が強まる季節です。立冬を過ぎた、春のような暖かい日を「小春日和」といい、これは陰暦で10月を「小春月」というところから来たもので所謂、「春」のことではありません。間違える人が多いと聞いている。

●10月20日の理事会で年末年始の予定がコロナ禍の為、次の通り、変更されました。12月15日（火）の「忘年会」と1月5日（火）の「賀詞交歓会」は中止となり、12月28日（月）の事務局の「納会」のみ、会議室での開催となりました。時間は午後3時からで「乾きもの」で簡単に、この1年を振り返って、新しい年を迎えることにしました。時間の許す方はお気軽に参加して下さい。後日参加者の人数を把握しますので影山迄連絡してください。従って事務局の来年の仕事始めは6日（水）からとなり、正月休みは12月29日（火）～1月5日（火）迄の8日間となります。

●同じ理事会で以下の通り、外国人受け入れ事業の「組合員」の加入と3名の「フェロー」が承認されました。

①組合員 (G074) (株)秀英 (三重県四日市市) 食品製造業、代表者：池田英一

②フェロー 吉田宣也氏 (ネプチューングループ(株)) 東京都目黒区

③フェロー 棚田京一氏 (K. Tドルフィン) 東京都港区

④フェロー 村岡元司氏 (株NTT データ経営研究所) 東京都千代田区

追記：3月17日の理事会でフェローとして、

成田健一氏 (日本工業大学) 東京都江東区 が承認されています。

現在のフェローは水上弁護士を含めて5名です。尚、フェローの任期は原則3年です。

●同じく理事会で第26期前半(9月末)の決算概要が発表されました。売上高は約2,713万円、経常利益は約99万円と、コロナ禍にも関わらずまずまずの成績です。前期の売上は外国人材受入事業が多くを占めていますが、コンサルタント事業も今後、官公庁の入札案件が実を結びそうです。尚、今期から営業本部長は棚木義彦さんから岡崎充徳さんに代わり、積極的な営業を行っています。期待が持てます！

●今回、事務局ではアルコール消毒液に加えて「非接触温度計」を購入し、消毒液と同じ机に置きました。まだまだこの先コロナ禍が続くと思われますので、是非、有効にお使い下さい。

●11月の行事等の予定

6日(金) BCセミナー (10:00)

7日(土) BCセミナー (ロジスティック) (10:00)

8日(日) BCセミナー (10:00)

9日(月) BCセミナー (10:00)

10日(火) 運営会議 (10:30)

11日(水) 営担会議 (10:30)

13日(金) BCセミナー (10:00)

15日(日) BCセミナー (10:00)

16日(月) BCセミナー (10:00)

17日(火) 理事会 (13:00)

20日(金) BCセミナー (10:00)

21日(土) BCセミナー (ロジスティック) (10:00)

25日(水) 営担会議 (10:30)

28日(土) BCセミナー (ロジスティック) (10:00)

29日(日) BCセミナー (10:00)

30日(月) BCセミナー (10:00)

●12月の行事等の予定

- 4日（金）BCセミナー（10：00）
- 5日（土）BCセミナー（ロジスティック）（10：00）
- 6日（日）BCセミナー（10：00）
- 7日（月）BCセミナー（10：00）
- 8日（火）運営会議（10：30）
- 9日（水）営担会議（10：30）
- 11日（金）BCセミナー（10：00）
- 13日（日）BCセミナー（10：00）
- 14日（月）BCセミナー（10：00）
- 15日（火）理事会（13：00）
- 17日（木）BCセミナー（10：00）
- 18日（金）BCセミナー（10：00）
- 20日（日）BCセミナー（労務3）（10：00）
- 21日（月）BCセミナー（10：00）
- 23日（水）営担会議（10：30）
- 24日（木）BCセミナー（10：00）
- 25日（金）BCセミナー（予備日）（10：00）
- 26日（土）BCセミナー（ロジスティック）（10：00）
- 29日（月）仕事納め 納会（15：00～16：30）

12/29（火）～1/5（火）年末年始休日

2021年6日（水）仕事始め

一粒万倍

▼核兵器禁止条約の発効に必要な批准国が50か国に達した。しかし、唯一の原子爆弾による被爆国の日本は批准してないし、批准をしようとしもない。日米同盟による安保条約の妨げになるのか、米国の傘のもとに存在するのか、米国に対する「忖度」が効いているのか、難しい局面に遭遇している。国会では野党は原子力発電を廃止せよと言っているのにも係わらず質問も少ない。

▼東日本大震災による、福島県の原子力発電設備が崩壊した以後、「安心・安全」という言葉を聞くようになってから、多くの時間が経過した。科学的な「安全」と心理的な「安心」が一体になっているのがどうもしっくりこない。「安全だから安心せよ！」というならば理解が出来るが、並列それも安心が先ではどうも納得が行かない。そこで国民はなかなか納得していないようだ。

▼11月1日に実施された2回目の住民投票でも大阪都構想は僅差で否決され、「維新の旗印」が失われてしまった。東京都は昭和18年（1943年）帝都としての統制を強める為に東京府を東京都に改め、東京市を廃止し、35の「区」が誕生した。それまで小生は東京府東京市足立区千住東町25番地で生活をしてきた。戦後の昭和22年（1945年）地方自治法によって22の「特別区」（その後23区になる）になった。大阪市がなくなり特別区になると、日本には首都が2か所になることを心配して、自民党は反対していた。今後「大阪維新の会」「日本維新の会」はどのような道を歩んでいくのかが、興味をそそる。

▼11月3日に米国の次の大統領を選ぶ代理人の選挙が行われた。今回の選挙はいろいろと問題が多く、9日になってようやく民主党のジョー・バイデン氏が第46代大統領に当選確実になった。しかし1月6日の代理人による選挙迄は最終決定しない。間接選挙で決まる米国の大統領選は州法に依る独立性が高く、選挙結果の開票制度の違いから、トランプ大統領による訴訟がある。従ってトランプ氏は「敗北」をなかなか認めない。せめて国政選挙の場合に統一性が取れないのか、世界一の大国の大統領には全世界が注目しているのに。

編集後記：*今回新しい賛助会員で「ことばワークス」代表の金子元一さんから「次世代通信5G」についての連載を賜りました。有難う御座います。*また今月から数回に亘り、宮坂武彦理事から「メタボの予防について」と題し、寄稿を頂きました。我が組合のような年寄り集団にとっては貴重なご意見になると思います。有難う御座います。*榎木義彦顧問の「CCKの歴史」もいよいよ佳境に入ってきました。皆様からのご意見も頂戴致し度宜しく願います。*田園中児の「伊呂波がるた」も今回で最終回を迎えました。本来は番外編として「青歌」・「戯れ唄」「替え歌」編があるのですが、倫理に触れるので割愛させていただきました。

2020.11.10